

2021年度の大学としての方針発表

「対面授業8割実施」を目指す方針へ

～感染防止策を徹底し、ハイブリッドな新しい学びの形～

麗澤大学(千葉県柏市/学長：徳永澄憲)では2020年9月より一部の授業で対面授業を再開し、1、2年生の必修科目と3、4年生のゼミナールの活動を中心に、現在2割弱が対面授業で実施しています。

現在、緊急事態宣言が再発令され、新型コロナウイルスの収束の兆しが見えない中でも、より充実したキャンパスライフを送れるよう感染防止策を再確認、徹底的に整え、本学では2021年度第1学期の授業を原則として対面にて実施することを決定いたしました。

学長の徳永澄憲は「対面授業を8割以上とする予定ですが、大人数の講義形式授業はオンラインとするなど、感染防止への取り組みを工夫しながら、対面授業再開に向けての準備を進めております。これからも皆さんのご意見や今後の感染状況を踏まえ、安心安全を第一に考えつつ、学修環境を維持できる対策を更新して参ります」と述べています。

【今後の授業の実施について】

	必修科目	選択科目
216名以上	オンライン授業	オンライン授業
78～215名	対面授業	オンライン授業
77名以下	対面授業	対面授業

設定した座席数に収まる履修者数(215名以下)の授業は原則、対面授業とします。また、履修者数216名以上が見込まれる科目は「オンライン授業」とし、選択科目は履修者数78名以上が見込まれる科目は「オンライン授業」とします。オンライン授業を効果的に取り入れることで、学習効果の向上と感染防止を両立させることを目指します。ただし、履修者数に関わらず、以下3つ全ての条件を満たす場合についてはオンライン授業とします。

- ①対面授業に比べ高い学習効果が見込まれること
- ②授業をアクティブラーニング中心に実施していること
- ③対面授業の実施により、感染リスクが著しく高まること

【感染防止対策】

- ・教室内の前後左右の座席におけるソーシャルディスタンスの確保
- ・定期的な換気、校舎内の学生、教職員のマスク着用の義務付け
※校舎(教室)の空調設備は、換気設備が整った安心出来るシステムとなっております。
- ・各教室/廊下への消毒液等の設置

【麗澤大学について】

麗澤大学は昭和10年、創立者の廣池千九郎(法学博士)が「道徳科学専攻塾」を現在のキャンパス(千葉県柏市光ヶ丘)に開塾したことから始まります。心豊かな人間性を養い、国際社会に貢献できる人材の育成をめざし、今では大学・高校・中学・幼稚園を開設しています。また留学生の受け入れも積極的に行っており、キャンパスには世界約30の国・地域から留学生が集まり、さまざまな言語が飛び交っています。

【本件に関するお問合せ先】麗澤大学 URL: <https://www.reitaku-u.ac.jp/> 〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

アドミッション&PRセンター 担当: 川原(かわはら)、阿部(あべ) Email: pr@reitaku-u.ac.jp

TEL: 04-7173-3136 FAX: 04-7173-3585